

コロンビア経済情勢（12月）

【ポイント】

- 11月のインフレ率は12.53%に上昇
- 中央銀行は、政策金利を12%に引上げ
- 2023年の最低賃金を引上げ
- 2023年財政計画を発表

【本文】

1 主な出来事

<国内情勢>

（1）貿易

（ア）10月の輸入は61億2,700万米ドル（「ラ・レプブリカ」紙、20日）

国家統計庁（DANE）は、10月の輸入が61億2,730万米ドルで、前年同月の58億900万米ドルに比べ5.5%増加と発表した。4.6%増加した製造部門が主に貢献し、このうち機械、輸送機器は23.5%増加した。

（イ）貿易赤字は123億3,700万米ドル（「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、20日）

国家統計庁（DANE）は、10月の貿易赤字を▲14億7,500万米ドルと発表した。2022年1月から10月の貿易赤字は▲123億3,700万米ドル、新型コロナウイルス流行前の2019年同期の86億2,480万米ドルと比べると43%増加。

（ウ）輸出は8.8%増加（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、30日）

国家統計庁（DANE）は、11月の輸出は45億1,950万米ドルで前年同月と比べ8.8%増加と報告した。燃料、採掘部門の輸出が全体の56.9%を占め、製造業は18.4%、農産物、食料、飲料が19.2%を占めた。

（2）インフレ

（ア）11月のインフレ率は12.53%に上昇（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、5日）

国家統計庁（DANE）は、11月の年間インフレ率を12.53%（前年5.26%）と発表し、アナリストの予測を上回る1999年3月以来の高い数値とした。

（イ）2023年のインフレ率を7.5%と予測（「ラ・レプブリカ」紙、7日）

中央銀行は、2022年末の年間インフレ率予測を11%から12.2%に引き上げ、2023年11月に約7.5%、2024年に4.24%に低下するとした。

(3) 政府はコーヒー部門を支援（「エル・ヌエボ・シグロ」紙、1日）

財務・公債省は、コーヒー部門への支援ロードマップを作成、コーヒー農園の改修、コーヒー価格安定化基金（FEP Cafe）への資金提供、生産組合とコーヒー基金（FoNC）の財政に与える影響軽減、ロブスタ種コーヒーの生産の4つに焦点を当てるとした。

(4) 連帯収入プログラムの最後の支払い（「カラコル」、1日）

ドゥケ前政権により提案された連帯収入プログラムは、社会繁栄局が所管し400万人近くの脆弱世帯に経済的支援を行っている。同プログラムは2022年12月に終了するため、最後の支払いが11月から12月に行われる。

(5) ボゴタ市はサンクリストバルロープウェイの入札を開始（「ラ・レプブリカ」、2日）

ボゴタ市のサンクリストバルロープウェイの入札が開始される。総延長2.8キロで、ポルタル・ベインティ・デ・フリオからラ・ビクトリア地区、アルタミラ地区を接続。投資額は3,418億3,900万ペソで、契約は4月を予定。

(6) エコペトル社はエネルギー移行を加速（「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、9日）

エコペトル社は、25.3兆ペソから29.8兆ペソとなる2023年の投資計画を報告した。エネルギー移行の加速を目標とし、2025年までの900メガワットの再生可能エネルギー生産、5万トンのグリーン水素生産が含まれる。

(7) ガソリン価格の値上げを加速（「ラ・レプブリカ」紙、「エルティエンポ」紙、11日）

オカンポ財務・公債相は、ガソリン価格の値上げを2023年に加速すると発表した。コロンビアのガソリン価格は、1ガロン当たり2.46米ドル（他の国の平均価格約4.6米ドル）と、燃料価格安定化基金（Fepc）により安く抑えられている。

(8) ガソリンは400ペソ値上げ（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、31日）

政府は、1月1日からガソリンを1ガロン当たり400ペソ（約11円）値上げすると発表した。政府は燃料価格安定化基金（Fepc）の巨額な赤字を削減する

ためガソリン価格を段階的に調整している。

(9) 政策金利を12%に引上げ(「ポルタフォリオ」紙、中央銀行、16日)
中央銀行は、政策金利を1ポイント引き上げ12%とした。11月のインフレ率が予測より高かったことが考慮された。

(10) フィッチはコロンビアの格付けをBB+に維持(「ポルタフォリオ」紙、「フォーブス」誌、16日)
格付け会社のフィッチ・レーティングスは、コロンビア長期国債の格付けをBB+に維持。金融、マクロ経済が安定する一方、財政赤字が拡大しており長期的な見通しは安定と評価した。

(11) 観光部門は経済に45兆ペソ貢献(「ラ・レプブリカ」紙、商工観光省報道資料、16日)
商工観光省は、2022年の観光部門の経済への貢献は45兆ペソで、前年と比べ15.4%増加と推計した。

(12) 2号線の入札は2023年を予定(「ラ・レプブリカ」紙、「セマナ」誌、メトロ公社、17日)
共和国議会公的信用委員会は、ボゴタメトロ社(EMB)の債務契約に保証を与える決議を行った。EMBは7.84兆ペソを上限に内外の金融機関からのローンが利用可能となり、ボゴタメトロ2号線の設計、建設、運営開始に資金が提供される。EMBによると、2号線は2023年に契約、2025年に建設を開始し、2031年完成予定。

(13) ルミチャカーパスト間の4G高速道路の完成(「ポルタフォリオ」紙、「フォーブス」誌、17日)
インフラ庁(ANI)は、第4世代高速道路のルミチャカーパスト道路の完成を発表した。2.5兆ペソ投資され、総距離83キロ、サンファン(イピアレス)とエル・コンタデロ間の二重車線化、ボケロン車両橋の建設が含まれる。

(14) 世界銀行はエネルギー移行に10億米ドルを融資(「ラ・レプブリカ」紙、「セマナ」誌、20日)
世界銀行は、気候変動への取組支援とエネルギー移行促進のためコロンビアへの10億米ドルの融資を決定した。エネルギー、輸送部門での炭素排出量の削減が期待され、非従来型再生エネルギーの生産能力拡大、グリーン水素生産の開発が含まれる。

(15) 周波数オークション行動計画を公表(情報技術・通信省報道資料、21)

日)

情報技術・通信省は、周波数オークションに向けた「選択プロセス行動計画（5Gの大衆化への道）」を公表、国土の接続性実現は政府のコミットメントで、地方での接続性実現と既存サービスの品質向上が課題とする。同計画によると、今後20年間に割当・更新がされる周波数帯の66%以上が今後2年間に行われる予定で、並行して5G技術導入の準備を行うとする。

(16) 9社がスペクトラムの使用に関心（情報技術・通信省報道資料、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、21日、30日）

情報技術・通信省は、2022年決議4543号に基づき地上移動サービスのため700MHz帯、1,900MHz帯、2,500MHz帯、3,500MHz帯、26GHz帯周波数の使用許可への関心を表明するよう電気通信事業者に求め、9事業者が関心を示した（3.5GHz帯に8事業者、26GHz帯に6事業者が関心）。同省は次世代通信サービスに3.5GHz帯を使用することを検討しているとされ、また、大統領府デジタル変革担当顧問は5Gオークションは2023年に行われる可能性があるとして指摘する。

(17) 2023年財政計画を発表（「ポルタフォリオ」紙、23日）

政府は2023年財政計画を発表し、同年の成長率予測を8月に発表した1.8%より低い1.3%、インフレ率予測を7.2%とした。また、同年の総歳入は319.3兆ペソ、このうち税収で280兆ペソを見込むとした。

(18) 2023年の最低賃金を引き上げる法令に署名（「ポルタフォリオ」紙、23日）

ラミレス労働大臣は最低賃金を引き上げる法令に署名し、2023年の最低賃金を、賃金116万ペソ（前年比16%増加）及び交通費支援金14万ペソ（20%増加）の合わせて130万ペソと発表した。

(19) 航空料金は最大40%値上げ（「ラ・レプブリカ」紙、24日）

レジェス運輸相は、2023年から航空券が30%から40%値上げされると発表した。この増加の一部は、付加価値税（IVA）を19%から5%に引き下げた同部門への税制優遇措置の適用期限が切れることによる。

(20) 飲食店の消費税徴収を再開（「エル・ヌエボ・シグロ」紙、「エスペクタドール」紙、28日）

国税・税関庁（DIAN）は、レストランやバーなど単純課税制度（RST）の対象となる全ての飲食店での消費税（impuesto al consumo）の徴収を2023年1月1日から再開すると発表した。

(21) 太平洋鉄道再開の調査（「ポルタフォリオ」紙、「エルティエンポ」紙、30日）

インフラ庁（ANI）は、ブエナVENTOURAからラ・フェリサ間の太平洋鉄道の再開に向けた実現可能性調査を開始、国家開発銀行（FDN）との行政契約に基づき用地評価等を15ヶ月間行うため240億ペソが割り当てられると報告した。

<対外経済関係>

(1) 農民の収入増加プロジェクトで韓国と合意（「エル・ヌエボ・シグロ」紙、1日）

農業省と韓国国際協力庁（KOICA）は、モンテス・デ・マリアとスル・デ・コルドバの小規模農業生産者の収入増加を目的とするプロジェクトに合意した。ロペス農業地方開発相は、この合意により、地方経済の発展促進、武力紛争の犠牲者と女性を支援すると述べた。駐コロンビア大使は、韓国はコロンビアの食料安全保障と農業改革の支援に関心を有し、改革を通じた公平な土地の再配分、農業生産者の生活向上を期待すると述べた。このプログラムは、2022年から2027年に、940万米ドルの投資により、7市町村の2,400世帯、40農業組合を支援する。

(2) グリーン水素輸出のため前進（「ラ・レプブリカ」紙、10日）

政府は2023年の共同プロジェクト実現のため、ドイツとの再生可能エネルギーに基づく再工業化政策とグリーン水素開発に関する二国間対話を開始。この二国間対話の枠組みの中で、商工観光省、鉱業エネルギー省、ボゴタ市エネルギー局、エコペトル社、プロミガス社は持続可能な再工業化を進めるための覚書に署名、戦略的パートナーとの国際的行動の推進等が合意された。

(3) ベネズエラとの貿易額は91%増加（「ラ・レプブリカ」紙、13日）

商工観光省は、2022年1月から9月のベネズエラとの貿易額を5億1,550万米ドルと発表した。年末までに10億米ドルを達成するという目標にはまだ遠い数値だが、前年より91%増加した。

(4) 通商再開に前進（「ポルタフォリオ」紙、14日）

コロンビアとベネズエラ間の車両通行が1月1日から完全に回復されると発表され、3つの国境の橋のうちまだ開通していなかったティエンディタス橋の車両通行が可能になる。商工観光省によると、9月に開通したシモン・ボリバル橋とフランシスコ・デ・パウラ・サンタンデル橋の国境検問所を385台の貨物トラックが通過し、2つの国境橋で8,639トン、952万米ドルの貿易が行われた。

(5) 反ダンピング措置の仲裁判決（「ポルタフォリオ」紙、「エルティエンポ」紙、「アグロネゴシオス」紙、商工観光省報道資料、22日）

世界貿易機関（WTO）は、冷凍フライドポテトに係る判決を下し、オランダ、ドイツ、ベルギーの冷凍フライドポテトへのコロンビアの反ダンピング措置はWTO規則に違反と宣言する一方、コロンビアが行った反ダンピング調査は容認された。商工観光省は、コロンビアはWTOの紛争解決メカニズムを尊重、国内立法プロセスを考慮し、合理的な期間内に仲裁機関の考察事項を実施するため適切な措置を講じるとし、この期間中の関税措置は引き続き有効と公表した。

主な経済指標

経済活動指標	2021/10	2022/8	2022/9	2022/10
国内総生産(四半期)(DANE):%	10.8	7.0	7.0	-
経済活動指数(DANE):%	9.9	9.0	4.2	4.6
経済活動指数第1次産業(DANE):%	2.4	4.0	-3.7	-3.5
経済活動指数第2次産業(DANE):%	8.6	12.6	6.1	4.0
経済活動指数第3次産業(DANE):%	11.4	9.2	5.1	6.0
エネルギー需要(XM):GWh	6,490	6,624	6,410	6,558
エネルギー需要-前年同月比(XM):%	6.4	3.7	1.6	1.0
雇用				
全国平均失業率(DANE):%	12.0	10.6	10.7	9.7
主要13都市失業率(DANE):%	12.9	10.8	10.4	9.9
消費				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO):%	-1.3	-2.4	-11.5	-19.5
実質小売売上高指数(DANE):%	14.2	8.1	7.2	1.9
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS):台	23,343	24,410	23,893	22,606
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS):台	201,575	171,517	195,410	218,016
物価				
消費者物価上昇率-前年同月比(DANE):%	0.01	1.02	0.93	0.72
消費者物価上昇率-前年比(DANE):%	4.58	10.84	11.44	12.22
生産者物価上昇率-前月比(DANE):%	2.54	-1.33	0.68	1.42
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省):ペソ/ガロン	N/A	9,523	9,523	9,523
生産				
実質工業生産指数(DANE):%	10.1	9.1	6.9	5.3
実質工業売上高指数(DANE):%	9.6	7.7	6.5	5.4
新規建設着工承認面積(DANE):㎡	1,412,493	3,757,992	3,029,267	2,319,485
コーヒー生産量(FNC):千袋(60Kg)	1,012	949	834	888
コーヒー生産量-前年同月比:%	-13	4	-31	-12
コーヒー価格(IOC)/11月から“SUAVE”:USD	257.13	292.52	296.46	269.49
石油生産量(日量)(鉱山省):バレル	740,320	749,299	753,584	757,002
石油生産量-前年同月比(鉱山省):%	-1.5	0.2	1.2	2.3
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省):バレル	734,366	747,916	748,546	749,391
石油価格WTI:USD/バレル	81.48	93.67	84.26	87.55
金融				
政策金利(中央銀行):%	2.00	9.00	9.00	10.00
為替 月初(中央銀行):COP	3,812.77	4,300.30	4,422.77	4,590.54
為替 月末(中央銀行):COP	3,784.44	4,400.16	4,532.07	4,819.42
為替 最高値(中央銀行):COP	3,812.77	4,413.86	4,556.42	4,968.94
為替 最安値(中央銀行):COP	3,725.75	4,185.49	4,346.91	4,484.74
株式指数 月初(中央銀行):COP	1,370.25	1,272.10	1,224.00	1,145.38
株式指数 月末(中央銀行):COP	1,394.04	1,228.33	1,128.24	1,231.52
株式指数 最高値(中央銀行):COP	1,426.20	1,333.07	1,236.74	1,231.64
株式指数 最安値(中央銀行):COP	1,370.25	1,228.33	1,112.84	1,145.38
貿易				
貿易収支(FOB)(DANE):百万米ドル	-1,515	-2,254	-1,401	-1,475
輸出額(FOB)(DANE):百万米ドル	3,799	4,779	4,779	4,213
輸出額(FOB)-前年同月比(DANE):%	43.6	37.9	26.1	10.9
輸出額(FOB)年内累計(DANE):百万米ドル	32,688	39,167	43,945	48,158
輸入額(CIF)(DANE):百万米ドル	5,810	7,298	6,696	6,127
輸入額(CIF)-前年同月比(DANE):%	56.8	36.4	16.8	5.5
輸入額(CIF)年内累計(DANE):百万米ドル	48,346	52,695	59,390	65,518
労働者送金(中央銀行):百万米ドル	664	769	751	894